施工要領書

寒冷紗（ペンキ下地裏あり）　標準施工

特徴：専用塗料を塗って仕上げる壁装材です。

下地調整

- 入念な下地処理を行い、施工面を平滑にしてください。
- 低温時には商品が固くなっていることがあるため、室内を暖めてから施工してください。
- モルタル・ベニヤ下地に施工する場合は、フクレやアクを防ぐため、シーラー処理をしてください。

接着剤塗布

- 後工程で塗料の塗装があり、塗装後にはがれないようにするため、接着剤はボンド入りの糊（ミックス糊：BB-307）を使用してください。
- オープンタイム・保管

  オープンタイムは 5～10 分程度を目安とし、長時間の放置は避けてください。オープンタイムが長すぎると糊の水分等により裏紙が剥離する原因となります。

貼り付け

- ジョイント時、重ね裁ちでおさめる場合には下地を切らないように注意してください。下地を切ってしまうと、目隙が発生する原因となります。必要に応じて下敷きテープ（ＢＢ-471）を使用してください。
- 糸素材はガラス繊維であるため、織物が硬く裏打ち紙が織物の組織を拾い裏面に凹凸があります。その為、糊の塗布が均一になりにくく未接着箇所が出来やすく塗装後、フクレの原因になることがありますので、糊の塗布の注意と、施工時に組織差がある部分には撫刷毛等で圧着することをお勧めします。
- 壁面に施工する際は、垂直に貼り付けしてください。曲がった状態で貼り続けると、柄合わせに不具合が生じたり、寸法が不足することがあります。
- ジョイント部分はローラーで圧着し整えてください。

注意事項

- 施工完了後は、直射日光、空調等急激な温度及び環境変化を避けて養生をして下さい。